



創

市民が「創」るまち

市民と行政の協働による、新しいまちづくりを進めます

市民参加のまちづくりの推進

市民一人ひとりの市政への参加意識を高め、ボランティアなど市民活動への参加機会の充実、体系化に努めます。

また、市民と行政の協働によるまちづくりを進めるため、各種市民活動団体などの自立支援と活性化を促進し、公募による各種審議会委員などの積極的な登用を推進します。

開かれた行政の推進

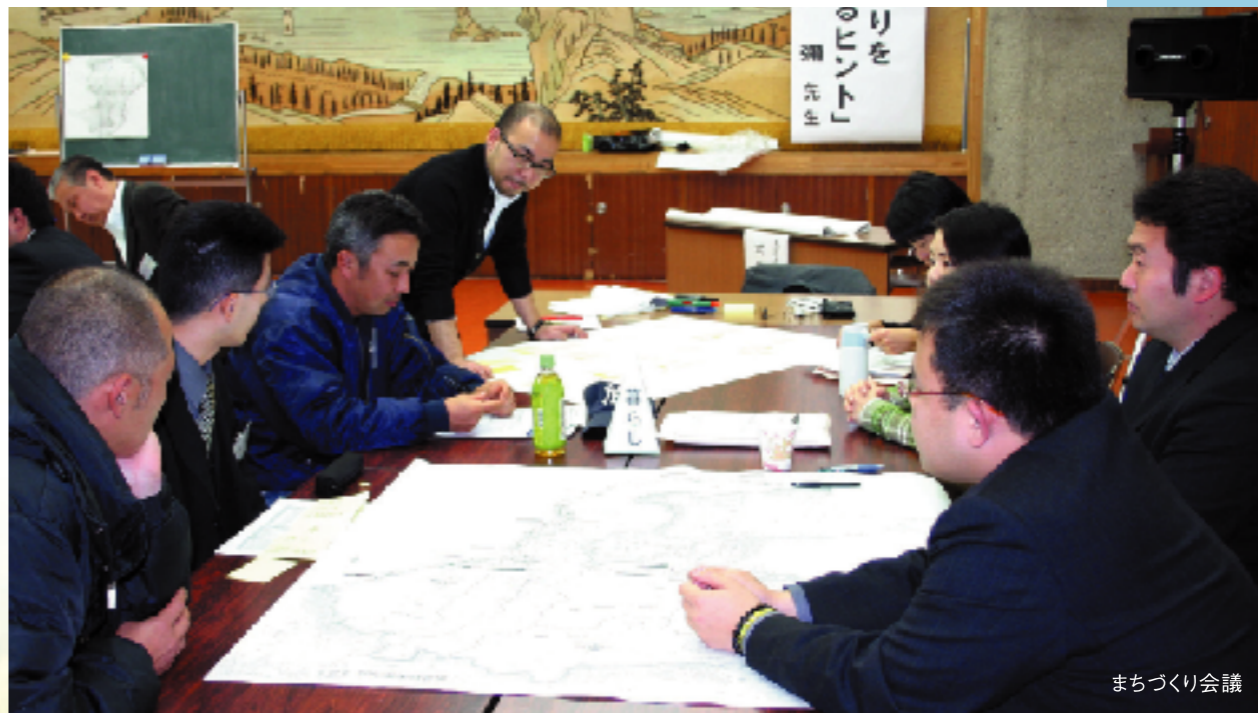
高度情報化に対応した迅速な情報提供を行うとともに、情報公開を推進し、市民に開かれた透明性の高い行政を目指します。情報公開にあたっては、個人情報保護制度を充実させながら、ITなどを積極的に活用します。

また一方では、情報弱者にもわかりやすい広報・公聴活動を行います。

※IT(Information Technology=情報通信技術)＝コンピュータネットワーク(特にインターネット)に関連する技術



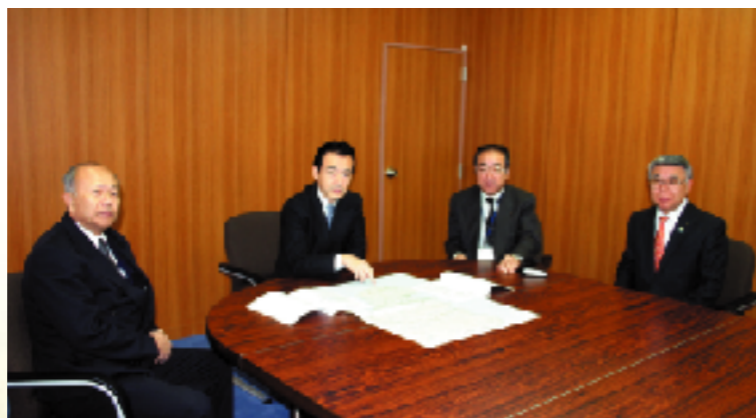
市政懇談会



まちづくり会議



提案箱「市長への手紙」



四役会議 左から青木嘉男教育長、石井裕市長、上野勝美副市長、平野喜男収入役

地域間交流の促進

市としての交流のあり方を確立するとともに、市民が主体となって交流を担える条件整備を進めます。

国際交流については、国際交流協会を全市的な活動団体として拡充を図るなど、受け入れの整備や交流先との連絡調整を整えます。

また、外国語による情報提供など、外国人が安心して暮らせるまちづくりを進めていきます。



友好都市むさしの青空市に出店

男女共同参画社会の形成

男女共同参画の環境づくりに向け、子育てや介護、就労などにおける女性の支援や相談体制の確立を進めるため、施策の体系化を図ります。

男女共同参画の意識啓発を図り、市民の理解を深め、一人ひとりの意識の高揚に努めます。

効率的・効果的な行財政運営の推進

ITの活用や職員の定員管理、事務事業のアウトソーシングの推進による効率的な行財政運営に努め、健全財政の推進を図ります。

また、社会経済の変化や市民ニーズの変化などに対応した行財政運営を行うため、職員研修制度の充実など、行政職員の専門性や政策形成能力の向上、公共団体の自主的活動の促進に努めます。

公共施設の整備・管理・運営については、PFI手法の検討や指定管理者制度による民間活力の導入を推進するなど、時代のニーズに合致したサービスの提供と施設の効率的な運営を図ります。

※アウトソーシング＝事務事業の一部を外部の業者に委託すること。
 ※d.f.i(Private Finance Initiative)＝民間企業などの建設・維持管理・運営などを民間の資金・経営能力および技術的能力を活用して行う新しい手法。
 ※指定管理者制度＝直営が政令などで定める公共的団体に限定して、その施設の管理・運営を民間事業者も行うことができる新しい制度。



国際性に富んだ地域社会



南房総フラワーマーチ



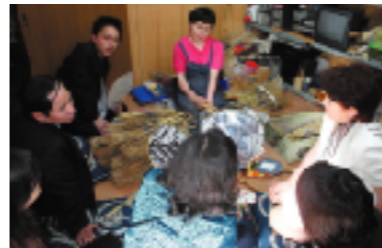
ファンデイル市高校生との交流

広がる人の輪・和・話

国際化、ポータルレス化の進展に伴い、市民の国際交流活動も広がりを見せています。

交流の輪を広げ、国の内外を問わず、自然環境や街並み・伝統、人々の生活文化などが異なる都市と交流することは、異なる視点から自分の住む地域を見ることができ、文化や国籍の違いを越えて互いを理解し合い、助け合う国際性に富んだ地域社会を形成していきます。

※ポータルレス化＝境界がない社会になること。国境をはじめ、業種、業態、時間、組織、人格、仕事や性別などの線引を消してしまうこと。



房州うちわを見学するベトナム訪問団



香港の中学生との交流



台湾視察団 田舎すし体験



皆さんはオーストラリアと言うと何を思い浮かべますか?カンガルーやコアラ、エアーズロックではないでしょうか。これらは正解ですがオーストラリアの全てではありません。私も同様です。来日前は日本という、東京のような大都市を想像していました。しかし白浜に着任した時、私の想像は良い意味で裏切られました。間近で見る海の青さ、稲穂が揺れる田園、一面の花畑など、自然に満ち溢れた光景に目を奪われました。南房総市には農業や漁業など自然と共に生きる方が多く、そして大事にしているように感じます。特に食生活において、富浦・富山のびわや和田の鯨など、小さな地域にもかかわらず各地で特色があります。これはオーストラリアには無い特徴で、私はとても気に入っています。帰国後は、このような海外にはあまり知られていない日本(南房総市)の良さを、多くの人に知って欲しいと思います。

ALT からみた南房総市



デイビット・キャメロン・ウィルシャイヤ (オーストラリア出身)

議会

市の意思決定機関 市民の声を行政に反映させます

市民の立場で慎重審議

議会は市民から直接選ばれた議員によって構成される合議体で、地方自治にとって不可欠な機関です。

南房総市議会は、定数25名の議員により構成され、毎年3月、6月、9月、12月の定例会と必要に応じて臨時会が開かれます。市議会では、市政の運営方針や条例の制定・改廃、予算・決算など、市政全般における重要案件を市民の立場で審議し、よりよいまちづくりに努めています。

また、議案などの調査、審査をより詳細に、かつ専門的に行う必要性から常任委員会を設置しています。さらに議会を円滑、効率的に運営するため議会運営委員会を、特定の事件について調査、審査するために特別委員会をそれぞれ設置しています。



初代議長 渡邊政久 初代副議長 庄司真敏



本会議の様子

議会組織図

